

議案第 5 号

きんぎょタクシーの運行改善について

1. 運行改善に関する要望等（議会、住民座談会、ふれ合い箱等）

(1) 運行日の検討

- ・ 平日以外の日の運行について

⇒オペレーターの雇用人数を増やす必要があり、財政的に困難であるとともに、利用が多い病院等の多くが休診日であるため、平日同様の利用が見込めない。さらに一般タクシー等の交通事業者と競合する可能性を考慮し、現行どおりとする。

(2) 運行時間や運行便数の検討

- ・ きんぎょタクシーの増車（3 台目の導入）について
- ・ 7 時便の運行について
- ・ 12 時便の運行について
- ・ 17 時便の運行について

⇒年々、予約お断り件数が増加するなど、きんぎょタクシーの増車（3 台目の導入）については、検討する必要がある。また、きんぎょタクシーを増車すれば、運行時間等の改善等も見込まれる。

(3) 運賃の検討

- ・ 高齢者の料金割引について

⇒運賃はもともと低く設定されており、既存バス路線とのバランスにも配慮する必要がある。また、今年度より免許証自主返納者へ半年間の無料乗車券を発行しており、安定的な運賃収入を確保するためにも現行どおりとする。

(4) 運行区域の検討

- ・ 玉名市への運行について

⇒玉名市まで運行するとなれば時間的に困難である。また、デマンド型交通の導入にあたっては、既存バス路線やタクシー事業者との棲み分け（役割分担や相互補完関係）が必要であり、玉名方面はバス路線やJRなど他の交通機関があるため、現行どおりとする。

2. きんぎょタクシーの増車（3台目の導入）について

(1) コストシュミレーション

歳入

(単位：円)

項目	H28年度		H29年度
	2台	3台 (H28.10.1～)	3台
利用者収入	3,745,000	3,932,000	4,288,000
国庫補助金（見込み額）	2,561,000	2,561,000	3,305,000
熊本県生活交通維持・活性化総合交付金（見込み額）	3,636,000	3,636,000	3,636,000
長洲町負担額	6,141,000	9,037,000	10,702,000
合計	16,083,000	19,166,000	21,931,000

歳出

(単位：円)

項目	H28年度		H29年度
	2台	3台 (H28.10.1～)	3台
きんぎょタクシー運行业務委託料	10,449,000	13,029,000	15,738,000
デマンドシステムリース料	2,125,000	2,616,000	2,711,000
通信運搬費（電話代等）	367,000	379,000	329,000
オペレーター人件費（賃金・共済費）	3,142,000	3,142,000	3,153,000
合計	16,083,000	19,166,000	21,931,000

(2) メリットおよびデメリット

○メリット

- ・ 運行経費が抑えられる。（財政負担額 1,500 万円以内）
- ・ 幅広い運行改善が見込まれる。
- ・ 利用者負担が少ない。

●デメリット

- ・ 事前登録、事前予約が必要
- ・ 運行事業者に新たな投資が必要となる。
- ・ 一般タクシーと競合する可能性がある。

(3) 運行改善に向けたスケジュール（案）

